

社会的自立に向けた 児童生徒への支援について



令和6年12月19日
由利本荘市教育委員会

支援を必要とする児童生徒の現状

1 本市における不登校の状況

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
小学校	46	39	28
中学校	99	78	80
合計	145	117	108
	(123.9%)	(108.3%)	
秋田県全体	1917	1544	1324
	(124.1%)	(116.6%)	

2 学校生活サポート希望者数(小学校)

R3	190人	3154人	6.02%
R4	182人	2996人	6.07%
R5	191人	2885人	6.60%
R6	170人	2767人	6.14%

3 特別支援学級児童生徒数

R3 108人 R4 107人 R5 107人 R6 110人

1. 教育支援センターによる多面的な支援

＜本荘ふれあい教室の開設＞

- 不登校児童生徒を対象に、**個別支援や集団活動等**を通して、社会的自立を目指すよう働きかける。
- 開級日：長期休業・休日を除く毎週月・水・木・金
- 活動時間：9:15～15:00まで
- 多様な相談形態（電話・オンライン・見学）



- 学習活動
- 創作活動
- 集団活動



2. 学校生活サポートによる支援

○ 生活サポート(38名)

- ・授業における個別支援
- ・生活面、安全面に関する支援
- ・心理的安定に関する支援
- ・授業中や休み時間の声かけ
- ・児童生徒の様子の変化等の把握

と管理職や担任への情報提供



○ 学習サポート(5名)

- ・理解が不十分な学習事項への個別支援

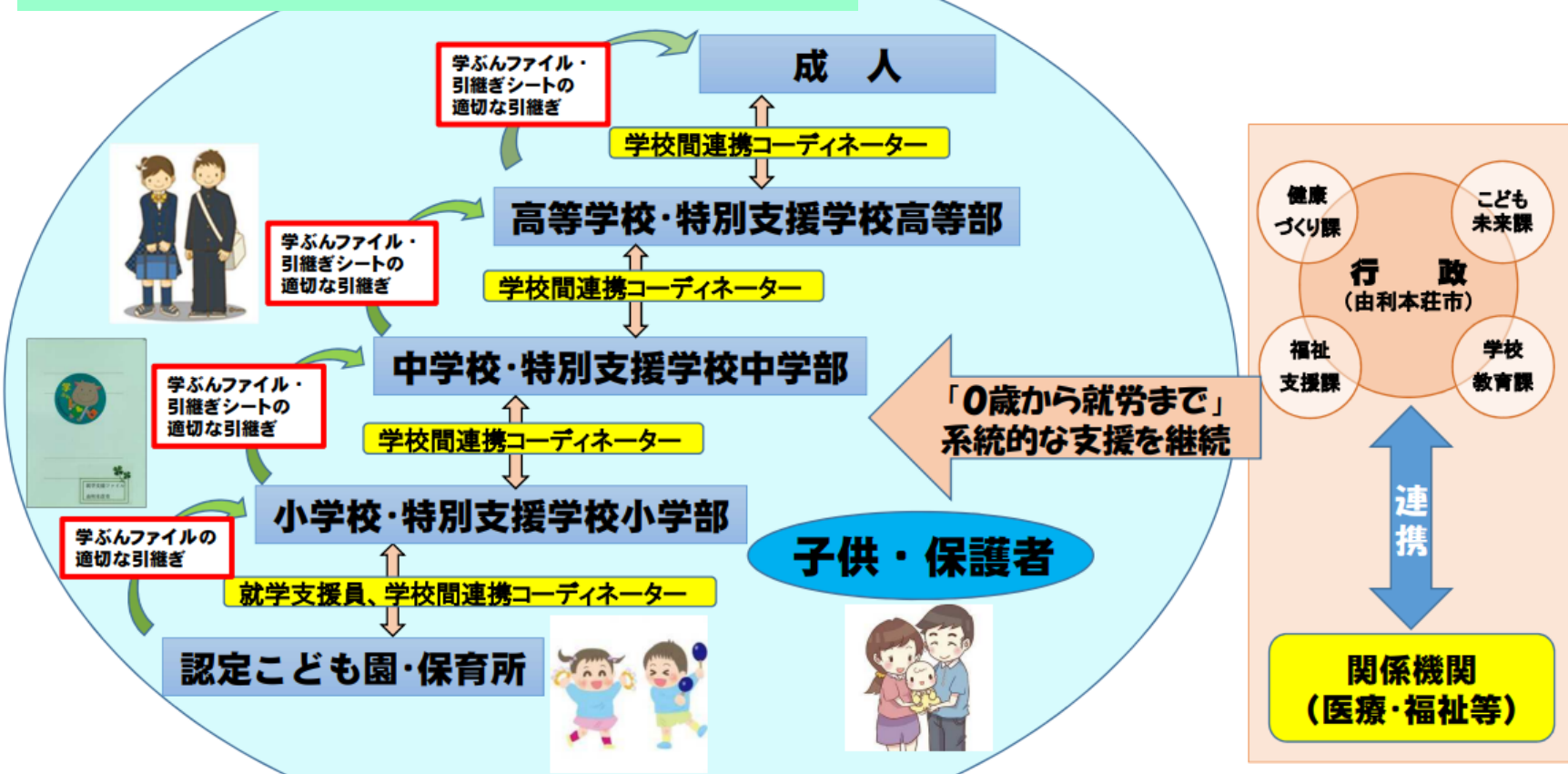
○ 医療サポート(1名)

- ・服薬のサポート、授業や休み時間の見守り

3. 関係各課との連携による 一貫した支援体制

①四課が連携した就学支援

②四課による支援庁内連携会議



就学支援員(幼保→小)の配置、学校間連携コーディネーター(小→中、中→高)の配置